



3月14日に市内の小学校11校、15日に中学校4校で卒業証書授与式が行われ、小学生379人、中学生458人が卒業しました。

式では、在校生や保護者など大勢の出席者が見守る中、卒業生が入場。校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。最後の合唱が体育館に響き渡り、卒業生たちは慣れ親しんだ学び舎から巣立っていきました。

【写真：高社中学校（左上・左下）、長丘小学校（右）】

## 3/14・15 小・中学校卒業証書授与式



INTERVIEW

高社中学校長  
こぼやしひろはる  
小林弘治さん

自分にとっても思い出に残る最後の卒業式でした。生徒、保護者、先生方に感謝しています。地域の皆さまにもお世話になりました。



2/26

## 解体前の市役所旧庁舎を活用 広域緊急援助隊の救助訓練

取り壊し前の市役所旧庁舎で、県警による大規模災害を想定した救助訓練が行われました。

当日は、県警広域緊急援助隊、中野署第二機動隊、機動警察通信隊の約40人が参加。旧庁舎を倒壊したビルと見立て、隊員たちは、専用の器具で防火扉やコンクリート壁に穴を開けて建物内を慎重に進入。粉じんが舞う中、被災者役の人を見つけると応急手当を行い、冷静に手際よく屋外に運び出していました。



2/25

## 落語に学ぶ、笑い与健康 生涯学習市民のつどい

市民会館ホールで「生涯学習市民のつどい」を開催しました。子ども読書活動「ファミリー賞」の表彰、津軽三味線愛好会のステージ発表に続き、落語家の立川談慶さんによる記念講演が行われました。

時事ネタや具体例を交えながら、笑い与健康について楽しく語る立川さんは、最後に落語を二席披露。想像力をかき立てられる多彩な小ばなしに、会場は何度も笑いに包まれていました。





2/19~3/30  
**得するまちのゼミナール**

お店の人が教えてくれる

お店の人が講師となって、専門店ならではの知識や情報などを教えてくれる少人数のミニ講座「まちゼミ」。ドライフラワーを透明な小瓶に詰め、オイルを流し込んで作る「ハーバリウム」。一枚の布を立体的に結び、帽子や物入れなどに変身させる風呂敷の活用術。鉄瓶で沸かしたお湯の味の良さや鉄器の手入れ方法など、全20講座が開催されました。参加された皆さんは、新たな知識を得ながらお店の人との会話を楽しんでいました。

鉄瓶でお湯を沸かすと、鉄分がお湯に含まれて体に良いと聞き、参加しました。使えば使うほど良い鉄器になることに感心しました。



南部鉄瓶のまちゼミに参加  
 小林さん



3/21  
**仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサート**

市民会館ホールで、「晋平・辰之メモリアル 仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサート」が開催されました。

音楽姉妹都市の縁で実現したもので、当日はオーケストラが市イメージソング「空みあげて」や中山晋平メドレー、チャイコフスキーの「弦楽セレナード」などを披露。会場の皆さんは、フルート、ヴァイオリンやチェロなどの美しい音色に聴き入っていました。



3/22  
**市政策研究所 調査研究報告会**

自治体シンクタンクとして昨年5月に設立した中野市政策研究所。研究員が3つのチームに分かれ、調査研究した成果を市役所で報告しました。

報告テーマは「子育てしやすい環境」、「シティプロモーション」、「働き方改革」の3つで、会場を訪れた参加者からは「それぞれを結びつけた取り組みも期待したい」などと前向きな意見が出ていました。なお、報告書は市公式ホームページでご覧いただけます。